

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 12 月 7 日(2022.12.7)

【公開番号】特開 2021-175546(P2021-175546A)

【公開日】令和 3 年 11 月 4 日(2021.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2021-054

【出願番号】特願 2021-130954(P2021-130954)

【国際特許分類】

A 63H 3/36(2006.01)

10

【F I】

A 63H 3/36

D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 28 日(2022.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

人形体の所定部位を可動可能とするための可動構造体であって、
前記所定部位を形成する第 1 パーツおよび第 2 パーツ、並びに、それらを接続するための第 1 接続パーツを備え、
前記第 1 接続パーツは、
前記第 1 パーツと回動可能に係合する第 1 回動部と、
前記第 2 パーツと回動可能に係合する第 2 回動部と、
を含んでおり、
前記第 1 回動部と前記第 2 回動部とは、前記第 1 パーツの回動軸と前記第 2 パーツの回動軸とが前記第 1 パーツと前記第 2 パーツとの接続方向において互いに重ならないように設けられ、
前記第 1 回動部は前記第 2 回動部に対して前記人形体前方側に位置している
可動構造体。

30

【請求項 2】

前記可動構造体は、
前記第 1 パーツおよび前記第 2 パーツと共に前記所定部位を形成する第 3 パーツと、
前記第 2 パーツと前記第 3 パーツとを接続する第 2 接続パーツと、
を更に備え、
前記第 2 接続パーツは、
前記第 2 パーツと回動可能に係合する第 3 回動部と、
前記第 3 パーツと回動可能に係合する第 4 回動部と、
を含んでおり、
前記第 3 回動部と前記第 4 回動部とは、前記第 2 パーツの回動軸と前記第 3 パーツの回動軸とが前記第 2 パーツと前記第 3 パーツとの接続方向において互いに重ならないように設けられている
請求項 1 に記載の可動構造体。

40

【請求項 3】

前記所定部位は、前記人形体の胴体部であり、
前記第 1 接続パーツは前記胴体部における胸部および上腹部間に位置し、前記第 2 接続

50

パーツは前記胴体部における上腹部および下腹部間に位置する

請求項 2 に記載の可動構造体。

【請求項 4】

前記第 3 回動部は前記第 4 回動部に対して前記人形体後方側に位置する

請求項 2 または 3 に記載の可動構造体。

【請求項 5】

前記第 3 回動部は、少なくとも部分的に前記第 1 回動部の直下に位置する

請求項 2 から請求項 4 の何れか 1 項に記載の可動構造体。

【請求項 6】

前記第 1 回動部および前記第 2 回動部間の人形体水平方向における距離は、前記第 3 回
動部および前記第 4 回動部間の人形体水平方向における距離よりも大きい 10

請求項 2 から請求項 5 の何れか 1 項に記載の可動構造体。

【請求項 7】

前記胴体部上方において頭部を回動可能に支持する第 1 支持パーツを更に備え、

前記頭部の回動軸は、前記第 1 回動部による前記第 1 パーツの回動軸よりも前記人形体
後方側に位置する

請求項 2 から請求項 6 の何れか 1 項に記載の可動構造体。

【請求項 8】

前記頭部の回動軸は、前記第 2 回動部による前記第 2 パーツの回動軸よりも前記人形体
前方側に位置する 20

請求項 7 に記載の可動構造体。

【請求項 9】

前記胴体部下方において腰部を回動可能に支持する第 2 支持パーツを更に備え、

前記腰部の回動軸は、前記第 4 回動部による前記第 3 パーツの回動軸よりも前記人形体
後方側に位置する

請求項 2 から請求項 8 の何れか 1 項に記載の可動構造体。

【請求項 10】

前記第 1 接続パーツは、略水平方向に延設された基部を含み、

前記第 1 回動部は、前記基部の長手方向の一方の面に設けられ、前記第 2 回動部は、前記
基部の前記長手方向の他方の面に設けられる 30

請求項 1 から請求項 9 の何れか 1 項に記載の可動構造体。

【請求項 11】

前記基部は、前記長手方向において段差を有し、

前記一方の面における前記段差により、前記第 1 パーツの回動を規制し、

前記他方の面における前記段差により、前記第 2 パーツの回動を規制する、

請求項 10 に記載の可動構造体。

【請求項 12】

前記第 1 回動部および前記第 2 回動部は、球形である

請求項 1 から請求項 11 の何れか 1 項に記載の可動構造体。

【請求項 13】

請求項 1 から請求項 12 の何れか 1 項に記載の可動構造体を有する人形体。 40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一つの側面は可動構造体に係り、前記可動構造体は、人形体の所定部位を可動
可能とするための可動構造体であって、前記所定部位を形成する第 1 パーツおよび第 2 パ
ーツ、並びに、それらを接続するための第 1 接続パーツを備え、前記第 1 接続パーツは、 50

前記第 1 パーツを回動可能に固定する第 1 回動部と、前記第 2 パーツを回動可能に固定する第 2 回動部と、を含んでおり、前記第 1 回動部と前記第 2 回動部とは、前記第 1 パーツの回動軸と前記第 2 パーツの回動軸とが前記第 1 パーツと前記第 2 パーツとの接続方向において互いに重ならないように設けられている。

本発明の他の側面は可動構造体に係り、前記可動構造体は、人形体の所定部位を可動可能とするための可動構造体であって、前記所定部位を形成する第 1 パーツおよび第 2 パーツ、並びに、それらを接続するための第 1 接続パーツを備え、前記第 1 接続パーツは、前記第 1 パーツと回動可能に係合する第 1 回動部と、前記第 2 パーツと回動可能に係合する第 2 回動部と、を含んでおり、前記第 1 回動部と前記第 2 回動部とは、前記第 1 パーツの回動軸と前記第 2 パーツの回動軸とが前記第 1 パーツと前記第 2 パーツとの接続方向において互いに重ならないように設けられ、前記第 1 回動部は前記第 2 回動部に対して前記人形体前方側に位置している。

10

20

30

40

50